

令和5年度第2回交野市総合教育会議 結果概要

日時 令和5年8月28日（月）11:00～12:15

場所 本庁本館3階 第二委員会室

出席者 山本市長

北田教育長、村橋教育長職務代理者、亥埜教育委員、伊丹教育委員、長谷川教育委員、中山教育委員、般谷教育委員

事務局 良副市長

大湾教育次長（兼 教育総務室長）

教育総務室：堤下室長代理

学校教育部：和久田部長、内山部長、今堀次長

生涯学習推進部：西岡部長、本多次長

企画財政部：苗村部長、阿佐次長

（秘書政策課）松浦課長、奥田課長代理、小寺

傍聴者 0名

案件 1. 新たな教育施策について
2. その他

資料 1. 学校施設整備について
2. 小学6年生学校給食無償化事業
3. 教育委員会が進める新たな取組み

【開会】

○山本市長

皆さま、こんにちは。本日は令和5年度、第2回目の交野市総合教育会議となります。よろしくお願いたします。私が市長に就任して、約1年が経過いたしました。施設一体型小中一貫校につきましては、既に契約済みであり、議会の多数が契約の見直しに反対していることなどもあり、当初からの予定どおり一貫校の整備を進めていくこととなりました。ただ、これも当初から分かっていたことではありますが、建設事業者から物価高騰等を理由に、建設費の大幅な値上げを求められており、現在協議中ではありますが、今後、議会にも説明等が必要になってくるものと考えています。

また、跡地利用についても、今年度には一定方向性を決定しなければならないと考えている次第です。まだまだ課題が残る一方で、市全体としては過去からの多額の負債については、それを逆手に借入金利の基準の年数をできるだけ短縮することにより、それだけで年間6,000万円程度の費用削減につながります。また、市の基金については、電力債等の債権を購入することにより年間1億

円以上の収入増が見込まれます。この2つだけで年間1億6,000万円以上の新たな財源を確保することができました。このような財源確保を踏まえ、通学路の見守り人員の配置については、2学期からは全小学校区において配置され、また、交野小学校からみらい小学校に移られた場所にも人員配置が完了しました。私としましては、北河内7市では最も早く中学校給食の無償化を実施しましたが、さらにその範囲を拡大したいと考えています。これは費用負担というお金の話ではなく、将来世代への投資だと考えています。交野市への転入を増やすことにより、結果として納税を増やすことができると考えています。交野市内の6割の法人は、法人税の均等割りのみの状況です。一方で、年収1,000万円以上の人であれば、市民税一人当たり36万円となります。市の財政としても、子育て世帯の方々に交野に来ていただく方が良いと考えています。現在取り組んでいる様々な施策は将来世代への投資であると考え、これからも推進していきたいと考えています。本日は限られた時間ではありますが、有意義な話し合いの場となるよう、よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまより交野市総合教育会議を開催します。

まず、本日の会議につきまして、事務局より説明させていただきます。

○事務局

配布資料の確認

【案件協議】

○山本市長

それでは、本日の案件1「新たな教育施策について」を議題といたします。

この議題では、大きく2つに分けて進行させていただきます。まず、私が考える新たな取組みについてご説明させていただき、それに基づき意見交換をいたします。

その後、「教育委員会が進める新たな教育施策」について、意見交換を進めてまいりたいと考えています。

それでは、まず、私が考える新たな教育施策について、3つに分けて、意見交換を進めさせていただきます。

まず、学校施設整備につきましては、先週の朝日新聞の記事に既に掲載はされていますが、要望の多いトイレの大規模改修、避難所機能の充実ともなる体育館のエアコン設置、環境保護にもつながる照明のLED化を進めます。これまでは大規模改修に併せて実施するとしていましたが、一中校区は新築の最新設備となる中、他校についても、それに近いところの確保が必要と考えており、可能な施設改修は実施していく予定です。

詳細については、担当部長から説明をいたします。

○事務局

「資料1 学校施設整備について」に基づき説明

- 1) トイレ改修について
- 2) 学校施設のLED化について
- 3) 体育館の空調整備について

○山本市長

学校施設の整備については、できる限り、文部科学省以外の補助金を有効に活用していきたいと考えています。文部科学省の補助金は補助単価が決められており、単価を超えた分は補助がありません。一方で、脱炭素化推進事業債、LED化関係の補助金は、単価の設定がなく、32.4%の補助があります。体育館の空調についても、防災拠点として設定すれば、国から7割が補助されるため、市の負担はかなり少なくなります。先進市である箕面市では、その際にLPガスを設置したが、ランニングコストが年間235万円と非常に高いものとなっています。本市では、LEDも同時に取り入れ、できる限り追加のランニングコストが発生しないスキームを取り入れたいと思っています。

それでは、この件に関しまして、ご意見等がありましたらお願いします。

○長谷川教育委員

トイレ改修については、長年、保護者の願いだったと思うので、とてもありがたいと思っています。ここには体育館のトイレも含まれているのでしょうか。

○事務局

体育館が避難所機能となるため、体育館のトイレについても改修したいと考えています。プールに併設されている外部トイレについては、体育館との位置関係を見ながら一部改修をしたいと考えています。今回は乾式での整備を検討していますが、外部トイレは土足での使用となるため、従来と同じ湿式での整備となります。災害拠点という形で一定の改修をしたいと考えています。

○亥埜教育委員

トイレ改修の工程では、令和14年度に完成と記載されていますが、約10年後となると、校舎本体の老朽化との関係についてはどのようにお考えですか。

○山本市長

現在、屋上防水については実施済みで、概ね20年は問題ないと考えています。一方で外壁の塗装も絶対に必要なものだと考えていますが、単に外壁塗装だけでは補助金が交付されにくく、長寿命化の改修と絡める必要があります。長寿命化を実施するとなると、約30年はその校舎を利用する必要があり、学校再配置と併せて検討する必要があることから、今回のトイレ改修とLED化の検討の中には入れていませんが、実施しないと言っている訳ではありません。

○伊丹教育委員

今のお話ですと、トイレ改修は9年計画で予定されているが、長寿命化や学校再配置含めてその間に検討され、検討状況によってはトイレや他の部分の改修等を再検討するというお考えですか。

○山本市長

今回の資料には、具体的な学校名までは記載はしていません。二中校区の学校配置は変わらないと思っているが、三中校区は築年数からも妙見坂小学校を含めて検討が必要だと思っており、検討が必要な小学校はトイレ改修の順番が必然的に後になると考えています。ただし、中学校については再配置の検討は不要と考えているため、優先的に実施していきたい。今後の学校再配置の検討状況を見極めながら、具体的に決定していきたいと考えています。

○般谷教育委員

今回のトイレ改修は本当にありがたいことで、保護者が一番望んでいることだと思います。一方で、老朽化が進む中で雨漏りが一番、構造上の部分でも浸潤すると大変なことになる場合もあるため、その点はどうお考えですか。

○山本市長

市内学校では、屋上防水を一定実施しており、壁面塗装は出来ていないという現状です。財政的に余裕があれば、すべて建替えた方がよいとは思いますが、いまだに土地関係の負債が120億円あり、返済に10年は要します。また、新ごみ処理場の建設にかかる負債が、今後7年は続く見込みです。また建築単価も10～20%程度上がっており、10年間は大規模工事の実施は難しく、建物への投資は抑制せざる負えない状況です。ただし、今ある施設については、必要な維持管理は実施すべきだと考えており、外壁塗装を中心に進めていく予定です。当然、雨漏りがしない対策もするべきだと考えています。

○村橋教育長職務代理者

LED化で年間電気料の負担が軽くなると思いますが、どの程度の負担減を見込まれていますか。

○事務局

1校あたり90～100万円程度で見込んでいます。

○山本市長

LED化は教育委員会だけの話ではなく、全庁的に展開していきたいと考えています。来年度にはいきいきランドを改修するため、その際にLED化します。そのため、照明関係の電気代は概ね半分になる状況です。

他にご意見等はありませんか。それでは、2点目の説明に移ります。

本市は、北河内7市で最も早く中学校の無償化を実施しました。財源では、借入金利の引下げと債権の購入で、毎年、約1億6,000万円以上が得られます。金利の削減では、年度を経るごとに年間2,000～3,000万円が増えていく見込みです。そういった状況であることから、段階的にと考えていた小学6年生についても本来であれば来年度の実施予定でしたが、今年度の三学期から無償化を実施します。

また、これまで交野市では小学校の35人以下学級を実施してきましたが、国が35人以下学級に移行したことで交野市の負担が減少されています。この経費を他の財源に充てることは趣旨が違うと考えています。当初、中学校での35人以下学級を検討しましたが、本市の規模で実現しようと思うと全教科での教員確保が必要という課題があり、それより小学校低学年の30人以下学級を実施した方が良いと考え、令和6年度からの実施を検討しています。大阪府下では初めての試みとなります。

話を元に戻し、小学6年生学校給食無償化事業の詳細について、担当部長から説明いたします。

○事務局

「資料2 小学6年生学校給食無償化事業」に基づき説明

○山本市長

それでは、この件に関しまして、ご意見等ございましたらお願いします。

給食の無償化に関しては、他の財源も含めた財源確保額が合計3億円近くとなり、今後も増えていく見込みであるため、確保した財源の状況や財政状況を見ながら、今後も拡大について検討していきたいと考えています。

それでは、3点目の説明に移ります。

生涯学習関連では、かねてから懸案事項であった青年の家のエレベーターを設置します。

また、放課後の子どもたちの居場所づくりとして、本来ならば、ボールで遊べる場所として第二京阪道路の高架下の活用が良いところですが、関係機関との協議や施設整備に非常に時間を要し、全校区で他の場所を確保するのが困難であることから、結果としてフリースペースを拡充し、各校にて週5日の実施を目指したいと考えています。

詳細について、担当部長から説明いたします。

○事務局

青年の家エレベーター設置、フリースペース拡充について説明。

○山本市長

青年の家に関しては、体育館はありますが耐震性はない状態です。避難所にもなっているため、そちらの検討も必要ですが、一方で一中に関しては交野みらい学園の完成とともに使用されなくなります。その体育館をどうするのかもあります。一中を使用できるのが令和7年度になり、あと一年待つわけにもいかないため、一旦、エレベーターに関しては設置する次第です。

それでは、この件に関しまして、ご意見等ございましたらお願いします。

○中山教育委員

青年の家にエレベーターを設置することは、利用者の長年の要望であったと思います。交野は合唱が盛んに行われ、3階への利用者の多くは音楽室の利用が主になると思います。しかし、皆さん高齢になってきて3階まで上がれないから辞めるという話も聞くので、少しでも早く実現していただけたら嬉しく思います。エレベーターの設置にあたり、3階の部屋は全て壊れずにそのまま使用できるとお聞きしていますが、工事期間中の部屋の利用停止期間について、現在分かっている範囲で教えていただけないでしょうか。

○事務局

エレベーターの設置にあたっては、大きな騒音や直接影響が出る場所があると考えています。具体的なスケジュール等は、分かり次第早急に、各利用団体等に周知していきたいと考えています。所管部としては、長期間の利用停止になることはできる限り避けたいと考えています。

○伊丹委員

フリースペースに関しては、子どもたちの居場所づくりに係る整備をありがとうございます。少し気になっていることは、教育委員会が実施するとなると、そこで起こった事故にも一定の責任が生じてしまうと思います。そのため、事故が起こらないように人員配置や利用方法等に配慮いただき、子どもたちが安全にかつ利用しやすい形での整備をお願いしたいと思っています。

○長谷川教育委員

フリースペース事業で一番の課題は人材確保であったと思います。シルバー人材センターにお願いしているということで高齢化は避けられないと思いますが、やはり人材確保に大切なのは報酬だと思います。きっちりとした報酬体制を構築し、空いた時間でお手伝いできるような、有償ボランティア等が参加しやすい形を構築する必要があると考えています。ご検討いただいて、子どもたちの居場所づくりを広げる形になればと思います。

○山本市長

報酬額の引き上げも含めての話だと考えています。その費用の一部は大阪府の負担であり、不足分は市が別途確保した財源を充てる予定にしています。

他にご意見等はございませんか。

それでは、続きまして、現在教育委員会が進めている、また、今後進めようとしている施策について、事務局から資料に沿って説明いたします。

○事務局

「資料3 教育委員会が進める新たな取組み」に沿って、取組み内容の説明。

- 1) 子どもたちへの様々な体験機会の提供
- 2) 地域や外部団体とつながる活動
- 3) 教育施設の新たな活用
- 4) その他

○山本市長

大阪経済大学との事業に関しては、先週の読売新聞の記事に掲載されています。

それでは、この件についてご意見等がありましたら、よろしく申し上げます。

○伊丹教育委員

今回、教育委員会にも様々な施策をしていただいております、子どもたちにとって良いことだと思っています。冒頭に市長から世帯年収1,000万円というお話がありましたが、経済的に余裕のある世帯を呼んでくることと、今いる子どもたちに対してきっちりとした教育を提供する、この2つの方向性があると思っています。例えば、トイレの改修であれば、今いる子どもたちにとっては非常に良いことだが、他市からトイレ改修をしたから交野市へ、とはなりません。やはりハード面とソフト面の充実が合わさって初めて、他市から人を呼んでくることができると思っています。市長は発信力がある方なので、「交野市はこんな教育やっています」ということをぜひ発信していただいて、市外の子育て世帯を呼び込んでもらいたいと思っています。交野の教育をPRする形で、動いていただければありがたいと思っています。

○山本市長

これまでの広報紙や市HPでは、関係者及び市内の方しか見ないと思っています。私の考えとしては、適宜、報道機関等に情報提供し、新聞やテレビで報道してもらえれば、大阪府内全域に情報は広まりますし、テレビであれば近畿2府4県に十分情報発信ができるものと考えています。

実施する様々な施策は、市内に今いる子どもたちや保護者のためでもあるが、それに留まらずに市外・府外の方にも情報発信でき、本市の移住定住の促進につながると思っています。これまでも教育委員会は様々な施策を実施してくれていましたが、情報発信という点では不十分だったものがあるかなと思っています。情報発信をできる限り改善し、これからも交野市の魅力を対外的にアピールできるよう進めていきたいと思っています。

○長谷川教育委員

一つは要望になります。55周年記念日として給食に出される特別メニューを検討中とのことですが、ぜひ3大アレルギーは省いたメニューでお願いします。子ども全員が楽しめるメニューでお願いします。

もう一点ですが、漢検と英検について、これまでも力を入れていただき、ひと昔前に比べ、子どもたちや保護者にとって身近な存在になっていると思います。ただし、小学生が受験するとなると、受験手続や受験日の親の付き添いが問題になっていたところがあり、市内の中学校が受験会場

になれば友達同士で行けるという大きな利点があります。予算等の関係があるとは思いますが、交野で受験できる環境になれば一番良いと思っており、ご検討いただきたいと思えます。

○中山教育委員

他市から交野市に来たいなと思った時に、例えば、活躍している子どもたち、大人ももちろんですが、市としてそういう人たちをもう少し取り上げてアピールしていく、スポットが当たるように応援していただけたらありがたいです。

また、情報発信では市SNSや広報紙、市長がされているSNS関係があると思えますが、民間で交野タイムズや交野新聞など、広報紙等ではカバーしきれない部分でも民間の情報誌であれば発信していくことができると思えますので、連携していければ良いなと思えます。

また、大人にも子どもにも本物に触れていただきたいと思っており、その機会として、例えば、どこかのホールに行って演奏会を聞きに行くのも良いですが、交野で美術や演奏などを実施できれば交野市に多くの人に来てくれると思えます。

話は戻りますが、クラス数が増えて教員の数を増やしても財源に余裕があるならば、担任一人制ではなくて二人制などを取り入れてほしいと思っています。

○山本市長

これまで市長が市民の皆さんを表彰する制度はありませんでしたが、私の就任後、市長表彰という制度をつくっており、広報紙とも連携して対応を考えていきたいと思っています。

また、これまでは枚方市の記者クラブのみに情報提供を行っていたが、交野タイムズや交野新聞も含めて情報提供をする体制に変更しました。従来に比べればそういった点を改善しています。

少人数学級の件でいえば、低学年のところは打ち出しましたが、今後は他学年の改善策についても検討していきたいと考えています。

○般谷教育委員

交野市の未来にとって一番大事なことは子どもであり、このまち、この郷土の素晴らしいところを、財政負担が少ない部分で挑戦していってほしいと思っています。

先のこと見据え、前向きで肯定した考え方で取り組んでいけば、素晴らしいものが出来上がっていくと思えてなりません。交野は歴史のあるまちであり、歴史を題材にしながら取り組んでいき、子どもたちの教育、心の中に歴史的な大切なものを育てていただければと思う次第です。どうぞよろしく願います。

○亥埜教育委員

本日、色々な点で財源の話がありましたが、これらは資金運用から出る財源だと思います。根本的な財源は、やはり税収アップであり、交野市に子育て世代や働き世代が転入してくる、人が増えることが根本的な収入増加だと思います。われわれ教育委員会も教育の内容、ソフト面で人が増えたらいいなという思いで色々やってきました。大学との連携もそうですが、今後も子どもたちの好奇心や探求心を育ていけるような教育を応援していただいて、そういった世代を呼び込めるように協力していただけたらと思います。

○村橋教育長職務代理者

資料にもあるクラブチームとの交流で、バレーボールのパナソニックパンサーズと小中学生の交流がありました。音楽や美術も大切ですが、スポーツ面で言えば、バスケットやサッカーなどのクラブチームとの交流をもっと展開できれば、さらに小中学生の元気が出てくると思っていますので、検討していただければと思います。

○山本市長

他にご意見等はありませんか。

それでは、案件1「新たな教育施策について」は以上といたします。

これから事務局から交野みらい学園の備品整備について、現在の状況を報告いたします。

○事務局

備品整備の状況について説明。

○山本市長

みらい学園の備品に関しては、教育委員会とのやり取りの中で、決定していない部分もありますが、机とイスに関してはみらい学園だけ買い替えではなく、他校を含めて買い替えたいと考えており、10月議会に向けて補正をしたいと思っています。

私の方から、検討していることとして、今年度から学校給食の牛乳に関しては、瓶からパックに変更しています。牛乳パックは業者に委託料（年間108万円）を支払い、回収してもらっています。私としては、京都市が先行実施しているように、小中学生が牛乳パックを開いて、リサイクルにてトイレトペーパーにすべきだと思っています。なお、市内保育園等での紙おむつの処分については、市が直営で回収し、近日中には市内保育園等での紙おむつの持ち帰りはなくなる見込みです。

また、小学校の入学時点での鞆に関して、ランドセルが5、6万円と非常に高額になってきている中、摂津市では市が提供しており、京都府内でもランリュックを提供している自治体があります。次年度は調整が間に合いませんので、次々年度からとは思っていますが、財源は一定確保できていますので、全員強制というわけにはいかないですが、市が提供できればと思っています。

次に、先日、箕面市の小中一貫校を拝見しましたが、先進市では小中学校に自動販売機を設置しております。神戸市のように防災用の自動販売機であるとともに、市が事業者に設置料を徴収するという形で入札をしているにも関わらず応札されている事例もあります。私の就任後、これまで設置されていなかった公園への自販機設置を開始しており、今後は、小中学校についても導入できればと検討しているところです。

以上、小中学校の牛乳パックの回収、小学生の鞆、小中学校への自動販売機導入の3点に関して、内部で検討している状況です。

それでは、この件についてご意見等がありましたら、よろしく申し上げます。

○亥埜教育委員

ランドセルの件では、祖父母が孫に購入するのを楽しみにしているご家庭もいらっしゃると思います。例えば、市が半分を負担して、こういう安い鞆もありますよ、という選択制にするのが一番良いのではないかという話もあり、強制ではなく、鞆は自由という括りでするのはどうか、というのが私の意見です。

○山本市長

もちろん強制は難しいと思っておりますし、保護者や祖父母がランドセルを購入したいというご家庭は買っていただきたらと思っています。一方で、就学援助費の全額でもランドセルをまともに購入できないというのも理不尽だと思っています。交野カバンですと1万円程度で、四中の鞆であれば4,000円程度だと聞いていますので、市が一定の公平性を考えて、それ相当の補助の実施について、次々年度から実施できればと考えています。

給食の無償化については、生徒一人に5万円程度の費用を要します。鞆に関しては一人当たり1万円程度でと考えていますが、結果として保護者負担が5、6万円程度の軽減になることを考えると、市のお金の使い方としては非常に効果的だと考えており、現在、教育委員会と検討を進めているところです。

○村橋教育長職務代理者

リュックのメリットとして軽くて安い、ランドセルは高いが長持ちするというメリットデメリットを明確にして提示すれば、一定理解が得られると思います。例えば、小学校3年生は校外学習で

市内巡りをしますが、リュックであればそのまま行くことができ汎用性が高いという面もあります。メリットとデメリットを伝えることが大切だと思います。

○山本市長

他にご意見等はございませんか。

それでは、これもちまして、すべての案件について終了いたしましたので、本日の総合教育会議を終了いたします。

今後、次年度の予算計上の時期を迎えます。改めて、教育に関する予算について意見をお聞きする場を設けたいと考えていますので、よろしく申し上げます。

皆さま、お忙しい中ではあるにも関わらず、一時間以上にわたりお時間を頂戴いたしました。

本日は誠にありがとうございました。

以上

本議事録は発言の要点をまとめているものであり、発言全てを記載したものではありません。